



世界に希望を生み出そう

Rotary

寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年～

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 村松 一 幹事 山本和好

会報委員(クラブ管理運営委員会)

若菜勝美 鈴木正秋 石丸博久 大澤 剛 茂内 勝 中村 靖 二見 茂 眞原 浩 森嶋洋子 山本和好

第2275回例会 2024年2月26日(月) 晴れ時々くもり

司会 山本幹事

斉唱 それでこそロータリー

ソングリーダー 加藤クラブ管理運営委員

ゲスト 米山奨学生 張 付新君

メイクアップ【本日分】 中野会員(危機管理セミナー)

会長の時間 村松会長

本日の例会は米山奨学生チョウ・フシンくん卓話をお願いしております。チョウ君後ほどよろしくお願いたします。チョウくんはカウンセラーに迷惑をかけたことないかな。さて先週、日経平均株価が史上最高値を記録しました。1989年の大納会以来ということです。今から35年前、私19歳でした。19歳の私、何をしていたかというアメリカ合衆国・テネシー州・メアリービルという町の私立メアリービル大学というところに通っていた留学生でした。場所は州都ナッシュビルやエルビス・プレスリーで有名なメンフィスではなく、州第三の都市ノックスビルという街から1時間ほど車で行ったところにある自然豊かな田舎町にその大学がありました。できるだけ日本人がいないところの大学を志望して入学したのですが、さすがバブル日本、そこには結構な数の日本人留学生がおりました。中央大学を含む数校の姉妹大学で単位も取れるということで交換留学生が数人、そして語学学校が併設されていたのでそこに沢山日本人学生が来ていました。でもあまり当時は日本人とは付き合わず大学のサッカー部に入りアメリカ人や特にエクアドルとガンビアから来た同級生の留学生と仲良くしていました。そんな訳で本日は当時一番印象に残ったお話をしたいと思います。時はバブルだったのでしょね。学費、寮費併せて奨学金なしで親が全額支払。車はホンダの赤いCRXの新車を購入、しかもアメリカンエキスプレスカードで。その車で夏休みに入ったある日、エクアドルの友

人が一時帰国するので空港まで連れていきお見送りした後、別の予定があったので急いで大学構内の寮へと帰っている途中、パトカーがいるの気づかず高速で通り抜けたところ青いランプが点灯。何を思ったか僕はとっさにハンドルを右に切り住宅地へ逃げてしまいました。少し経って逃げきれたかと思いついていたところに前から別のパトカーが来て結局挟み撃ちに。皆さん良くニュースとか映画で犯人が手を挙げて壁に手を付けて手錠をまかれるシーンありますよね。あれを車から降りてやられました。そして近くの交番らしきところに連れていかれ正面と左右の写真と指紋をとられました。たぶん私アメリカで前科一犯かもしれません。その後再入国できたので大丈夫だとは思いますが。そして一連の手続きが終わって身元引受人が来れば帰っていいよということになりました。しかしながら当時は携帯電話などなく連絡できるのは固定電話からしかできない。友人の電話番号など記憶していなかったのでどうかと思います、とりあえず電話帳を貸してくださいとお願いしました。大学の番号があるはずだと思ったのですがそこにはありませんでした。そこで当時大学の担当のカウンセラーが近くに住んでいるはずなのでその人の名前を探すと3名ほど同姓同名の名前が。どうにでもなれとの思いで一つ目に電話をかけると運よくその担当者につながり、迎えに来て欲しい旨を伝えその後私を引き受けに来てくれました。その後その担当者は私を見るたびあの時迎えに行くとお前は泣きそうな顔をしていたと

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
38名	36名	33名	91.67%	第2273回 91.67%
本日欠席者	山本哲会員、吉田会員、若菜会員			

ちやかされることしばしばでした。確かに貧相な顔つきをしていたと思います。今でもその人の名前は憶えています。ケリー・フランクリン。ということでこの話はそろそろ終わりにしたいと思いますが、私たち寒川RCクラブにとってもチョウ・フシン君は大変印象に残る米山奨学生になることでしょう。タイミングもコロナ禍が終わり通常に戻ったところからのスタートでしたし、何より例会の出席率の高さは過去一番なのではないでしょうか。今後日本と中国の架け橋を担う重要な人材に育てていただくことを期待し、また4月より就職とのことなのでお体にご留意いただき勤務先でのご活躍を祈念いたしまして会長の時間とさせていただきます。

幹事報告 山本幹事

例会変更

大和中、茅ヶ崎、茅ヶ崎湘南、大和田園、各RC

週報受理

なし

その他受理

●ガバナー事務所

～ 2024年地区研修・協議会開催案内 {4/21(日)9:30 登録受付開始 10:30～11:45 全体会議Ⅰ 11:45～12:45 昼食 12:45～14:30 全体会議Ⅱ ※懇親会は開催しない 登録料:6,800円/人}

回覧

なし

委員会報告・地区および地域出向者報告

国際奉仕動委員会 島村委員長

4/17からの台北士林RC周年の渡航まであと50日と迫りました。本日、第1回目の説明会を15分ほど行いますので、台北ツアーに参加される方は2階ロビーにお集まりください。

同好会報告

なし

2275回スマイルボックス 藤クラブ管理運営委員

合計41,000円

◎村松会長・山本幹事

チョウ君、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

◎中村光良会員

先週行われました第267回寒川RCゴルフコンペでメンバーとハンデに恵まれ優勝させていただきました。6月の取切戦も優勝目指して頑張ります！

◎島村会員

張くん、卓話楽しみにしています。

◎青木、秋本、石井、石腰、石塚、石丸、磯川、井上(晋)、井上(稔)、内野、小澤、金子、菊地、椎野、茂内、清水、下里、鈴木(郁)、高波、中村(靖)、藤、二見、眞原、三澤、三留、森嶋、各会員

卓話：米山奨学生 張 付新君



皆様、こんばんは。本日は私の卓話です。本日の内容は特にタイトルなどはありません。雑談みたいな感じで聞いてください。先日、卓話の内容について島村さんと話しましたが、その後、なかなかいい考えが浮かばないのです。本当は奨学生としての一年間の楽しいこととか思いとかを話したいのですが、それでは来月またスピーチをするときに新しい内容を考えなければなりません。というわけで今回はタイトルはありませんが、私個人に関する内容を考えてまとめて原稿を書きました。どうか最後まで聞いていただけると嬉しいです。皆様から見ると、私は背が高いのかそれとも低いか、それとも普通なのか。中国北方出身としては私の背は低い方です。実は小さい頃私は「薬罐子」と呼ばれていた。直接翻訳すると「薬瓶(くすりびん)」のことです。それは体が弱くて、よく薬を飲んでいたので。小学校5年生前までは毎月1回必ず病院へ行きました。まさしく病院の常連客です。なので、小さい頃から他の子供のように部屋の外で遊ぶより一人家で遊ぶ方が多かったです。「家の中ならおもちゃやゲーム機があるし、外で遊ぶより面白い」と当時の私はそうやって考えていました。もちろん、私は一人ぼっちになったわけではなく友達はいます。ゲーム機の影響で中学生になった後、パソコンゲームに夢中になり、日本のアニメもこの時好きになりました。そこからパソコンゲームをどんどん続けていって、いつの間にかパソコンに関する知識も身につけました。中学1年生はまだ勉強をメインにしている、しかも試験では毎回クラスで前から3番目でした。しかし、2年生になって優等生クラスに入ってからなかなかいい成績が取れなくなりました。前から3番目から後ろの順位になってすぐショックでした。結果、勉強を嫌いになってゲーム一方になった、その原因で高校の進学受験は大失敗になったのです。一般的な高校に入れなかったが勉強は続けなければいけないので、高等専門学校に入りました。このような結果になったら、中国ではまるで人生がもう終わりのような感じです。ずーっと私の成績について気にしていた両親ですら私のことを諦めたのだと思います。好きな専攻方向を選択できず、ただ将来就職しやすい方向を選んだだけです。まさしく「終わり」の意味だと思います。今から思うと高専に入った唯一のいいところは

授業の時間が短いこと。より多くの時間が自分の望むままに支配できます。何年間もパソコンを操作してどんどん上手になりました。「分からないことがあれば検索すれば分かる」。パソコンはもう私にとってゲーミングマシンというだけでなく、もう一つの先生だと思えます。パソコンのおかげで自分は教科書、学校以外の知識を沢山勉強しました。「哲学」「人文」など、世の中には様々な面白いことがあると知りました。まるで私の世界が一気に広がったようでた。故に「雑学」についても興味がありました。このような多くの知識を重ねた結果、他人の意見や考えた結果を直接使うより、自分で考えて答えを出す方が好きになりました。そうやって「自由」の2年間を過ごし、いつの間にか3年生になった。その時、2つのルートが目の前にありました。1つは工場に入って、実技研修1年間でそのまま仕事をする道。もう1つは進学クラスに入って大学に行く道です。「もう「自由」の2年間を過ごしたので進学受験は無理だろう、そのまま一生を過ごしても別にいいじゃないか」。当時の私はそう考えました。現場で2ヶ月実技研修をする。多分とても退屈。確かに仕事内容は難しくない。しかも安定している。なのに何故か心の中がモヤモヤしている。と、ある日、研修が終わって家に帰る途中で空を見ながらぼんやりしていた。「ああ、選択を間違えた」。その時、ようやくわかりました。なぜ、既に安定しているのに自分のが心まだモヤモヤしているのか。それは「悔しい」からです。やはりここで終わりたくない。まだ人生を諦めたくない。当時の夕方空と心の中の悔しい気持ちを今もまだ覚えています。結局、2ヶ月の研修を諦めて進学受験をするために学校へ戻りました。既に決めたことを変えるのは簡単なことではないです。特にいろいろな手続き、申請書など大変でした。当時の担任の先生も助けてくれました。本当に先生には感謝しております。そして、1年間の準備をして無事に第一志望校に合格し、専攻も自分が好きな方向で選んだ。そして何年か勉強した後、2017年に日本へ旅行に来た。やはりアニメが好きなので、初めての外国旅行はこの日本を選びました。京都で清水寺などへ行きました。街はとても美しく、古い神社やお城などがきちんと保たれており、歴史を感じることができました。「いつか自分も日本へ留学したい」という考えがありましたが、家庭の都合で結局、大学を卒業後中国でそのまま就職しました。皆様「996」という言葉は聞いたことがありまか。それは朝9時から夜9時まで働いて、週6日出社することです。何年か正社員生活で苦しんだ後、精神的にも健康的にも限界を迎えて、自分は仕事を辞めました。そこから、昔チベットへ一度は旅行してみたいという考えを実現するために旅に出ました。昔の旅行と違って、今回は特に細かい計画は建てていないまま一人で旅をした。しかも帰り道のチケットさえ買わずに、です。どうせ時間があるので、自分の望むままに「自由」に楽しめたかった。旅の途中で、中国で様々なところを見て来た観光客に会いました。皆さんは職業や出身地がすべて異なる。こうやって知らない人と出会うのも旅の楽しさ。また、エベレストキャンプ場で銀河を見たのは人生で一番いい体験だったと思います。今でも銀河の姿を覚えています。そして、旅の途中

でこの先のことも考えました。「やはり、一度諦めた留学についてもう一度考え直し、日本へ行きたい」という気持ちが強くなりました。ただ今回は「悔しい」より「願いを叶えたい」という気持ちの方が強くて、まるで「この先に何かがあって、私のことを待っている。日本へ行けばそれが何か分かる」という気がしたのです。そこからは皆さんもご存じの通り、自分は日本へきました。そして、無事に就職して、人生の次の段階に入りました。今から思うと、もし、中学時代まじめに勉強していれば、多分友達と同じく普通の高校に入って、自由に思考する時間もなく、ただ勉強ばかりしていたかもしれません。そう考えたら、自分が高校に入れなかったことは幸いだと思います。何故かという、この貴重な2年間の「自由」時間は、もしかしたら私の一生の進路についても影響している。もしかしたらその「悔しさ」が自分の背中を押し続けるかもしれません。それとも単に直感で自分の進路について選択しているかもしれません。ただ、私が知っているのは、一時的には失敗であつてももしかしたら何か得られるのだと思います。量子力学には「観測問題」と言う問題があります。簡単にというと、2つの箱があり1つには左の靴が入っている。もう1つの箱には右の靴が入っている。どっちが左の靴なのか、どっちが右の靴なのか。それを観測(観察)して決めたのか。それとも、最初から既に決めていたのか、ということですが。前者の場合、世の中のことはすべてランダムに決まる。後者の場合、世の中のことはすべて既に決められていた。私たちはただ「運命」というものに縛られて生きているということです。私個人的は後者より前者の方が好きです。何故かという後者はロマンティックじゃないから。人生はどうやって計画したとしても、やはり未知の部分を体験するのは面白いし魅力的だと私はそう思っております。

<張君に質問コーナー>

○就職が決まったとのことですが？

●はい、TVS REGZA(レグザ)です。職種はソフトウェア開発です。(中国の電機メーカーであるハイセンスの子会社で、東芝・レグザ(REGZA)ブランドの映像機器の開発・製造・販売・修理を行う電機メーカー)。来月川崎に引っ越します。

○日本で就職したということはこれからずっと日本に住むのですか？

●はい、お嫁さんも日本で探したいです。将来は両親も日本に遊びに来て欲しいです。

○奨学金をもらうシステムはいろいろあると思いますが、なぜ米山奨学金に決めたのですか？

●米山奨学生の先輩がいて紹介してくれました。米山奨学生はお金をもらうだけではなく、ロータリークラブの例会に参加することでいろいろな人と出会うことができる。また、社会奉仕活動もできる。そして、日本以外の国の奨学生とも会え、繋がりを持つことができる。そんな奨学金制度は他にありません。